

図書の更新の重要性 “すべては児童・生徒のためです！”

- 児童・生徒の健全な教養を育成するために、少なくとも年に1回以上、学校図書館の蔵書の状況を見直し、【廃棄】【更新】を行いましょ。
- 使えない蔵書よりも使える蔵書にしましょう。
- 充足率維持のため、古い本を持ち続けていたら、皆さんの作業負担も多くなってしまいます。
- 児童・生徒たちの興味、関心を知るきっかけになります。
- 教育課程の選択肢が増えます。



廃棄・更新の一例

〈相模原A小学校〉



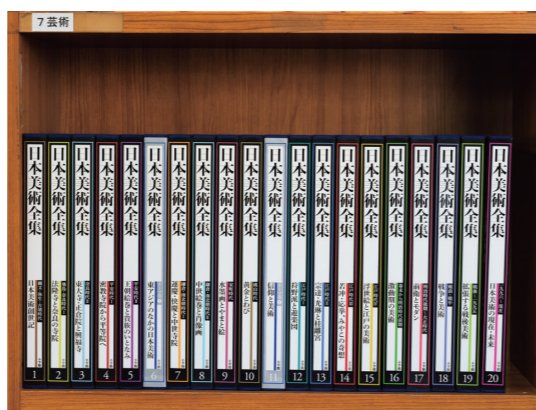
廃棄して
充実したコーナーができた



〈相模原B中学校〉



廃棄して
弱かった類の蔵書を強化できた



学校司書さんに聞いてみた

Q & A



Q: 【廃棄】・【更新】の印象は？

A: 勇気がある作業である。人の性格もあるが“捨てる”と思うもったいないという気持ちが出る。その反面、更新すると貸出率の向上はもとより、棚が使いやすくなったり、弱い類の蔵書の強化も図られるのでうれしい。

Q: 図書館から積極的に【廃棄】・【更新】を促せるか？

A: 努力している。一番は学校全体の意識の問題。図書館の重要性を訴えている学校は、予算の問題もあるが廃棄更新がスムーズに行われていると感じる。

Q: 【廃棄】・【更新】の作業で効率化した事例はある？

A: 廃棄については、新入生に行う図書館オリエンテーションの際に、傷んだ本、汚れた本など見つけたらカウンターに持ってきてほしいと言っているの、探し物を見つける感覚で持ってきてくれる。結果、廃棄の下準備が軽減化されている。
更新については、児童・生徒とのコミュニケーションを行うことでどうい分野の本を選書すればいいか、トレンドが何かなど参考になる。

Q: 小学校・中学校で【廃棄】に至る違いはあるか？

A: 小学校は傷みや汚れが原因。中学校は利用頻度の低い本が、カビの発生で使い物にならなくなる。

Q: 新人司書さんへアドバイスは？

A: 古い情報だと感じたら“更新せねば！”と思うこと。子どもたちに正確な情報を覚えてほしいから。

児童・生徒がより良い環境で学べるよう、
図書の思い切った【廃棄】【更新】をお願いします！